

町の防災組織 事例発表会



サン・ステージ緑園都市 西の街
管理組合 防災委員会 (横浜市泉区緑園4丁目)

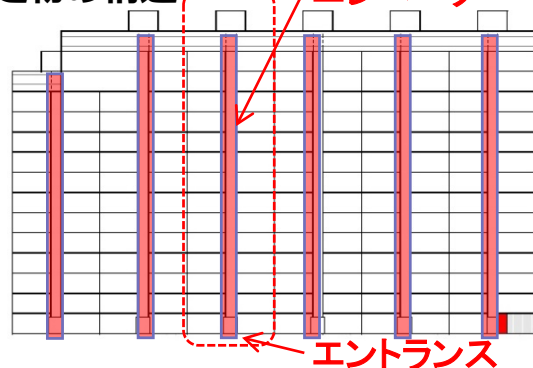
2018年2月17日

サン・ステージ緑園都市西の街

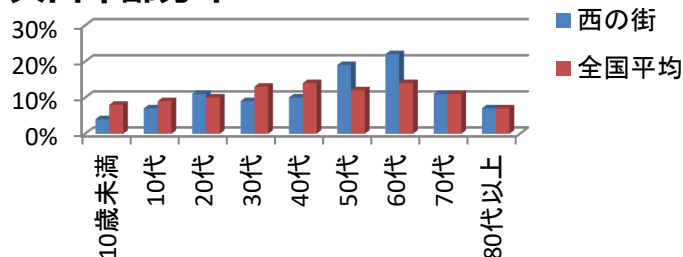
西の街の説明



建物の構造



人口年齢分布



【サン・ステージ緑園都市 西の街】 築年：1989年
約39,800平米の敷地面積に全6棟638世帯が居住

- ・敷地内の約67%が公園・広場等のオープンスペース
- ・住棟と住棟との間隔が約60m
- ・エントランス共有構造（全25エントランス）
各フロア2世帯ずつで14階建
28世帯でエレベータを共有

【特長】

- ・建物の堅牢性が高い
- ・隣家以外のフロア間でのつながりが無い
- ・各エントランス毎に自衛消防隊を編成
- ・人口年齢は60代が多い

【方針】

- ・要支援者情報は行政＋手挙げ方式で把握
- ・地域防災拠点の運営支援は実施
但し、震災時は拠点に避難せずマンション内で対策本部を設営し避難生活を実施

防災拠点に頼らず、自宅で避難生活が可能な仕組み作り

防災委員会（管理組合と自治会の合同防災体制）

防災委員会の説明

2012年6月より管理組合、自治会及びサポーターで防災委員会を運営

**管理組合
（消防法）**

**自治会
（行政）**

**サポーター
住民、消防、民生他**

防災講習会・法定消防訓練
消防計画書・地震防災応急計画
防災用品購入・備蓄品用倉庫整理
受水槽の耐震化(飲料水確保)
住民名簿整備
自宅避難推進と防災本部運営

四丁目西自治会の震災への取組み
災害時要支援者リスト
泉区地域防災拠点運営支援（運営委員）
近隣スポーツ施設との災害時協力体制

2012年6月より

68回実施

（2017年12月現在 月1回実施）

防火管理者

防災部会

防災委員会（総勢16名）

マンション内での防災組織立上げ（管理組合＋自治会の合同運営組織）



防災委員会で防災・減災フォローアップ研修を受講し現状の仕組みを再点検して活動内容の充実を図っています。

【研修後の主な取り組み】

- ◎ 安否確認訓練ができる関係をつくる
震災時安否確認訓練（要支援者対応を含めた訓練）
震災時活動マニュアルの運用・点検
- ◎ 防災知識を広める
消防訓練、防災施設見学、寸胴・ランタン使用点検、
エントランス会の開催推奨
- ◎ 防災の担い手を増やす
防災の担い手の育成（防災士、救命講習、防災ライセンスリーダー等）

震災時安否確認訓練（マニュアル作成）

震災時安否確認訓練①

【マニュアル作成の経緯】

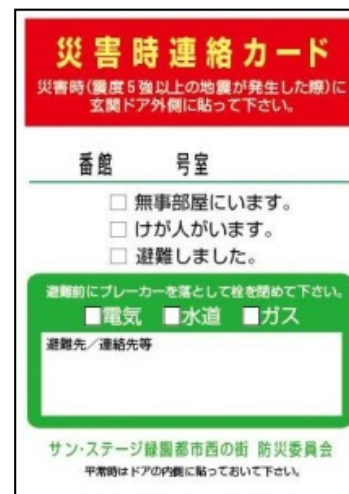
震災時に居住者の安否確認、救援救護、被災生活及び高齢者などの災害時要支援者等に対処するため、2014年10月に独自の震災時活動マニュアルを作成

【特長】

- ・ 地域防災拠点に避難は行わず、マンション内で避難生活を行うことを前提にする
- ・ 安否情報収集において、独自の災害時連絡カードを扉に貼り付ける方法で実施しマンションのエントランス構造を考慮した方法を採用
- ・ 救助については、建物の構造に即した手段を実施する方針を記載（レスキューシートの運用等）

【マニュアル配布】

全戸配布及び各エントランスの指定保管場所に常設



「サン・ステージ緑園都市西の街」に適合した震災時活動マニュアルの作成

震災時活動マニュアル：作成プロセス

震災時安否確認訓練②

建物点検・居住者アンケートを通じて、マンション構造や住民の生活実態・震災意識の把握を行いマニュアルを作成。その後、防災訓練や震災時安否確認訓練などを通して、マニュアル検証を行い、課題抽出と改善を図ると共に、防災備蓄品の整備・点検を行いマニュアルの内容充実を図っています。

現状把握

- 建物点検：停電時避難確認テスト／エレベーター仕様
- 居住者アンケート：生活実態／震災意識と準備の把握

策定

- 組織別：本部／情報／救護／安全／物資／管理事務所
- 時期別：発災当日／被災生活2－3日／復旧（4日目以降）

検証・改善

- 震災時安否確認訓練／防災訓練／防災講習会
- 備蓄品使用・点検／新規購入備品の選定



震災時安否確認訓練（年1回：マニュアルの検証を目的とする）

【訓練概要】

- ① 対策本部の立上げ（対策本部スタッフ）
- ② 災害時訓練カードを使用した安否情報収集（住民及び自衛消防隊）
- ③ 独自様式を使用した安否情報の見える化（自衛消防隊）
- ④ 要支援者に対する対応（自衛消防隊）

※ トランシーバを使用した本部スタッフの情報伝達



【監修】

泉消防署 緑園出張所

年度	2014	2015	2016	2017
住民参加率	68%	73%	70%	63%

【検証】 毎年実施

訓練終了後、消防署から指摘をいただき、対策本部スタッフの中で反省会を実施し気付きを議論する。その後防災委員会での気付きの内容を精査して改善（必要であればマニュアルの改版）を実施する。

今後は夜間訓練（夜間本部立上げ訓練）も計画・検討している。

毎年の震災時安否確認訓練によってマニュアルの検証・改善のループを回す

サン・ステージ緑園都市西の街イベント

その他イベント紹介

消防訓練

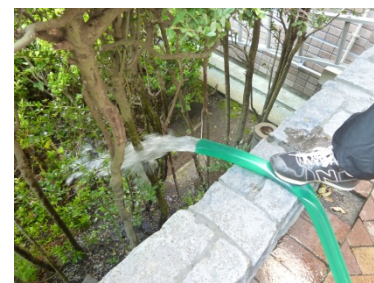
(暗闇訓練)



(隔て板割り訓練)



給水ポンプテスト



防災施設見学



レスキューシート確認



エントランス会



寸胴・ランタン使用点検

(サマーフェスタ)



(餅つき大会)



(夏祭り)



(餅つき大会)



地域イベントを通じて「近隣との関係作り」

防災の担い手の育成

人材育成

地域の防災意識の啓発、防災力の向上に努め、災害発生時には避難誘導・救助にあたる人材を育成するため、行政主催の研修及び資格取得の奨励を実施しております

◎ 普通救命講習 I

23名



◎ 横浜市防災ライセンス資機材取扱講習会

5名



◎ 防災士・マンション防災認定管理者

2名



講習・研修に積極的に参加して「防災知識の広報・啓発」

課題（アドバイスをいただきたいこと）

【震災時安否確認訓練】

- ・ 防災委員会主体の訓練から自衛消防組織主体への訓練へ流れをもっていきたいと考えているがアドバイスをお願いしたい
- ・ 安否確認訓練の住民参加率が60~70%を推移しているより参加率を向上させるアドバイス

【震災時活動マニュアル】

- ・ 震災時活動マニュアルをより住民に浸透させるアドバイス

【自助意識の向上】

- ・ 食糧及びトイレの自助による備蓄率を向上させたい



課題を克服して安心して暮らせるコミュニティを目指します！



Appendix

活動実績（横浜市民防災センター見学）



活動実績（防災ライセンスリーダーパワーアップ研修）



活動実績（災害時安否確認訓練 防災・減災推進フォローアップ研修）



活動実績（地域防災拠点運営訓練／普通救命講習Ⅰ）



活動実績（消防訓練）



活動実績（泉区消防出初め式／感謝状）

